

# は いちはら福祉ネットの 信 一 と 通

2021. 11. 1発行  
VOL.60

発行者 中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット(千葉県委託事業)  
〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-15  
TEL 0436-23-5300 FAX 0436-23-5225  
ホームページ [http://park22.wakwak.com/~ichihara\\_f.net/](http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/)  
メールアドレス [ichihara\\_f.net@bh.wakwak.com](mailto:ichihara_f.net@bh.wakwak.com)

年4回発行(4,000部)



## つながりが途切れがちな今だから… 改めて市原市の 子育て支援を知ろう!



令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染症の確認がされてからもうすぐ2年が経過しようとしています。その間、私たちの生活は大きく様変わりしました。

いはら福祉ネットは、福祉の総合相談を行う事業所として日々相談業務を行っていますが、その活動の中で感じることの一つに、『これまであったつながりがコロナ禍前に比べ希薄になっていること』が挙げられます。

子育て世帯の相談者、妊娠されている相談者からは、「緊急事態宣言のあと、子どもに対してイライラすることがあるが、以前のように親同士で話す機会がなく抱え込んでいる」「コロナ禍の中での出産に不安を感じる」「子どもが落ち着きがなく心配なのだけれど、つながりが途切れて誰にも相談できない…」といった声が聞かれます。

そこで、今回の一と通信は、市原市における妊娠・出産・子育て・子どもの発達に関する相談を行っている3機関【市原市子ども家庭総合支援課(以下:子家総)・市原市子育てネウボラセンター(以下:ネウボラ)・市原市発達支援センター(以下:発達支援)】へ座談会形式での取材を行い、市原市で妊娠・出産・子育て・子どもの発達などにお悩みを抱えた際、どのような機関に相談ができるのか、改めて知る機会にしたいと思います。

### それぞれの機関の役割を教えてください

**子家総** 子ども家庭総合支援課では、18歳未満のお子さんを抱えたご家庭の子育ての不安・育児やしつけ・家族関係や家庭環境など、子育てに関する相談を幅広くお受けしています。また、児童虐待に関する通告先としての機能もあります。子どもの養育だけでなく、子育てをする家庭への相談支援も行っています。

**ネウボラ** 子育てネウボラセンターの『ネウボラ』はフィンランド語で『アドバイスの場所』を意味しています。妊娠中から産後のケア、その後の子育てなど、妊娠から就学前のお子さんに関する相談をお受けしています。そのほかにも、1歳6か月児・3歳児の健診や、赤ちゃんからの食育講座などの開催、産後のホルモンバランスや体調を崩しやすい時期の産婦健診の費用助成など、妊産婦から子育てに関する様々な支援を行っています。

**発達支援** 発達支援センターでは、お子さんの発達にご心配のある方の相談をお受けしており、日常生活における基本的な動作、習慣及び集団生活への適応などに関して総合的な支援をしています。センターには療育ルームがあり、親子の通園クラスや親子分離クラス、交流保育クラスなど、それぞれのお子さんの状態に合わせた療育活動を行っています。

## どのような相談が多いですか？また、相談対応の中で大切にされていることは何ですか？

**子家総** 「子どもとどう接していいのかわからない…」 「イライラすることが多く、子どもに手をあげてしまう…」 といった子どもの養育に関する相談や、「病気で仕事ができなくなり、子どもの養育に不安がある」などの家庭環境に関する相談など、相談内容は多岐にわたります。また、他市から転入して来たため近隣に知り合いがなく、親族と疎遠で孤立してしまっている方も多いため、まずは相談者やそのご家族との関係づくりを大切にしたいと考えています。実際に支援するときには、子育ての分野だけでなく、さまざまな関係機関の人たちと協力しながら相談者やそのご家庭が抱える課題に対応できるよう心がけています。

**ネウボラ** 妊娠中の食事や、出産の準備、出産後の子育ての事など、妊娠・出産・子育ての相談が中心です。また、出産後体調が悪くなったりして育児家事のサポートが欲しいという方、親同士が話せる場が欲しいという方もいらっしゃいます。それぞれの家庭によって環境や考え方も異なるのでお一人お一人にどのような支援やサービスが必要なのかを考え、寄り添いながら対応しています。

**発達支援** ことばが出ない、発音や話し方が気になる、呼んでも振り向かない、行動に落ち着きがないなど、子どもの発達に関する相談が主ですが、相談内容は様々です。お子さんの発達状況に応じ、発達支援センター内の療育ルームやことばの教室をご利用いただいたり、市内にある児童発達支援事業所をご案内するなど、適切な支援につなげています。また、子どもの発達に関する相談では、ご家族が不安感や悩みを抱えることも多いため、ご家族の心情にも寄り添いながら、総合的に支援を組み立てることを心掛けています。

## 各機関の今後の取り組みを教えてください

**子家総** 今年度より、オンラインでの子育て相談を受け付けています。また、日頃行政や地域等とつながる機会が少ない家庭を地域団体が訪問し、子育て支援情報を届ける「地域主体の子ども見守り強化事業」を通じ、見守り体制の強化を図っています。


**ネウボラ** 子育てネウボラセンターでは、小児科医・産婦人科医へのオンライン相談を今年度より実施しています。平日18時～22時の夜間、LINEでのメッセージチャットや音声・動画通話も可能です。また、毎日24時間受付ができ、24時間以内の返信を行うウェブサイトでの相談も行っています。

**発達支援** 発達支援センターは地域の中核的な療育施設としての機能を持っているため、幼稚園や保育園、児童発達支援事業所との連携強化を行う地域支援に力を入れています。

## まとめにかえて

今回の3機関への取材の中で、各機関の皆さんへ大切にしていることは何か聞いたところ、皆さんが「子どもやそのご家族に寄り添う姿勢を大切にしている」と答えていたことがとても印象的でした。もし、妊娠や出産、子育てや子どもの発達にご心配を抱えた時には、一度ご相談されてはいかがでしょうか？

**【オンライン子育て相談受付時間】**  
 火曜日  
 午後1時30分～  
 または、  
 午後3時～  
 (祝日、年末年始を除く)



相談予約受付サイト

和歌山県市町村、系統子育ての保健者指定 市原市 母子保健オンライン相談 令和3年6月～



小児科 オンライン 産婦人科 オンライン 毎日24時間受付中

**小児科医 / 産婦人科医に無料相談**  
スマホから小児科医、産婦人科医、助産師に無料でご相談いただけます。妊娠中～産後の悩み、新生児～未就学のお子さんの相談が可能です。

例えば、こんな時…  
 うんちの色が変  
 湿疹が気になる  
 不正出血があった  
 母乳の量が心配

夜間相談  
 平日18時～22時 10分相談予約制

いつでも相談  
 毎日24時間受付 24時間以内返信

LINEのメッセージチャット / 音声通話 / 動画通話

ウェブサイトから相談を送付できます



産婦人科 オンライン @sanfujinkaonline



小児科 オンライン @syounikaonline

市原市子ども家庭総合支援課	住所：市原市国分寺台中央1-1-1 電話：0436-23-9746
市原市子育てネウボラセンター	住所：市原市更級5-1-27 (市原市保健センター内) 電話：0436-23-1215
市原市発達支援センター	住所：市原市海士有木225-4 (三和保健福祉センター内) 電話：0436-36-6097

## ちば障害者等用駐車区画利用証制度(パーキング・パミット制度)が開始されました

公共施設や商業施設には、障害のある方、介護が必要な高齢者、けが人、妊産婦など歩行が困難の方のために障害者等用駐車場が設置されていますが、本当に必要な方が利用できないことがあります。そこで、利用証を交付することにより、同区画の適正利用を図る制度で、千葉県は令和3年7月1日から所定の窓口で利用証の申請交付を開始しました。全国的にも広がりを見せている制度です。

### お問い合わせ先

利用証に関する相談やお問い合わせは、下記へご連絡をお願いします。

千葉県 健康福祉部 健康福祉指導課  
☎043-223-3924  
(平日8:30～17:00)

### 申請先の確認・申請書の入手

申請先の確認や、申請様式のダウンロードは、千葉県ホームページ(下記QRコード)をご覧ください。



または

千葉県 障害者 駐車場




## 「障害者グループホーム等支援ワーカーの活動紹介」③

今号では、障害者グループホーム(以下、GH)の管理者・サービス管理責任者、GH新規開設希望者への相談支援について紹介していきます。

管理者やサービス管理責任者は、GH事業所運営や入居者の支援方針などを組み立てる業務を行っています。法律や制度が目まぐるしく変わるため、情報の整理が追い付かず対応に苦慮される場合もあり、支援ワーカーに詳しい説明を聞きたいと相談が入ります。支援ワーカーは、市内の情報を集約しているだけでなく、県内のGHや関係機関の取り組みなどに関する情報も把握しているため、幅広い視点から必要な情報を提供しています。

GH新規開設希望者は、「住宅地の空き家をGHに活用したい」「入居希望者が増えている現状を聞き、社会貢献出来るようにGHを立ち上げたい」などの思いがあります。しかし、市内でGH事業所を始める場合、「入居希望者や関係機関が必要としているGHはどういったものなのか」といった情報が分からないこともあり、支援ワーカーに詳しく聞きたいと相談が入ります。GH制度や入居希望者のニーズを伝えるだけでなく、GHの見学や管理者等との面談の場を設定し、新規開設希望者がより具体的な支援を検討出来る様に促しています。

支援ワーカーは、地域の多様なニーズに対応出来る様に、GHで働いている職員の方々と一緒に課題解決を図っていく姿勢を大切にしています。



# 旬の食材を使ったヘルシーメニュー

旬のごぼうで食物繊維をとろう

## ごぼうサラダ

(1人分：111Kcal)

材料 (4人分)	かにかま 24g、ごぼう 240g、きゅうり 48g、人参 48g 調味材料(ごま 12g、マヨネーズ 28g、食塩 1.6g、胡椒 0.08g)
-------------	--

- 作り方…① かにかまは細かく裂く。  
 ② ごぼう、きゅうり、人参を長さ5cm位の千切りにする。  
 ③ 沸騰したお湯で千切りにしたごぼう、人参を3分位、きゅうりを1分位茹でて冷ます。  
 ④ ②の野菜とかにかま、調味材料をすべて混ぜ合わせる。

### 栄養士さんからのおすすめの一言・・・

「ごぼうは食物繊維が豊富に含まれます。子ども達にも人気のメニューです。」

今回のレシピは、社会福祉法人 愛育の森 森の幼稚舎 栄養士 大木梨瑚様に提供していただきました。

### 【会議等出席・開催状況 R3/7/1～9/30】

### いちほら福祉ネット活動報告

- 7/17・8/21・9/18 ちはら台地区福祉の総合相談会
- 7/19・9/27 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 市原圏域実務者会議
- 7/9 市原市障がい者支援協議会
- 7/14・7/29・8/11・8/25・9/8・9/22  
意思決定支援アドバイザー
- 7/18・8/24・9/27 司法と福祉千葉モデル勉強会
- 7/29 市原市認知症対策連絡協議会 例会 (Web)
- 8/26・9/17 市原地域リハビリテーション広域支援センター  
ちーき会 (Web)
- 7/6・7/29/・8/17・8/24・9/23・9/29  
千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会中核大会  
実行委員会 (Web)
- 7/27・8/24・9/29  
千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 例会
- 7/27・8/31・9/28  
市原市要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 8/16 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム  
構築推進事業の市原圏域における研修会
- 8/18 市原市社会福祉協議会 理事会
- 8/18 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 学習会
- 9/11 ちば子ども若者アフターケアキックオフシンポジウム
- 9/15 千葉県介護人材確保対策事業 メンタルサポート研修

千葉県内最大の面積を持つ市原市において、『相談窓口へのアクセスのしやすさ』は大きなキーワードであると感じています。現在いちほら福祉ネットでは、ちはら台地区において地区社会福祉協議会、市社会福祉協議会、地域包括支援センターと合同で『ちはら台地区福祉の総合相談会』を実施しています。コロナ禍でも身近に相談できる場所を作っていくため、今後も活動していきたいと思えます。

### いちほら福祉ネットへの相談件数

(速報値)

令和3年4月～令和3年9月  
延相談件数 1,529件(新規89件)

相談方法		対象者	
電話	1,169件	高齢者	64人
訪問	243件	障害者	687人
来所	80件	児童	110人
個別支援会議	37件	その他	668人

令和3年度(4月～9月)  
延相談件数 3,512件

**編集後記** 朝夕冷え込む季節になりました。皆さん、秋の夜長のおうち時間はいかがお過ごしでしょうか？秋が旬のきのこには、免疫力UPの効果があると言われています。お鍋料理やクリームパスタ等に使っても合いそうですね。ますます寒くなりますが、体調管理に気を付けてお過ごし下さい。(スタッフ一同)